

# 宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別対応方針シート

チーム名	第 1 チーム	担当課名	森林水産課
事業番号	1-14	事務事業名	内水面漁業振興支援事業

対応方針	見 直 し
------	-------

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p style="text-align: center; font-size: 0.8em; margin-bottom: 10px;">※ ( )内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p> <p>(1) 外敵の駆除については、本市に限らず全国的な課題であり、内水面漁協でそれぞれ対策に取り組んでいるが、効果的な対策も確立できていないところである。また、外敵以外にも自然環境の変化による資源減少もあり、増殖対策は困難を伴うところであるが、河川パトロールを通して河川環境の把握に努め適切な放流を継続していきたい。(①)</p> <p>(2) 資源が増殖できる良好な自然環境を維持することは本事業のみでは困難なため、漁獲量等について有効な成果目標を設定することは難しいが、専門機関や内水面漁協等に相談しながら、河川的环境に応じた放流種や数量の見直しを行い、資源の増殖に努める。 また、河川環境を改善するために、試行的に一部の河川で、河川内のごみを除去する浄化活動に取り組むこととする。(②) 見直し年度：平成24年度</p> <p>(3) 河川延長や数も多く、専門機関による調査は時間と費用もかかるため困難であると考えているが、現在、加江田川の干潟で、覆砂や耕うんが水産動物の生態系にどのような影響があるのか調査を行っているので、その結果を今後の参考にしていきたい。(③)</p> <p>(4) 義務放流については、宮崎県内水面漁場管理委員会の指導の基に行われているので、アプローチの余地は少ないが、各内水面漁協を通じて働きかけを行いたい。(④)</p> <p>(5) 実態として内水面漁業で生計を立てている人は少ないので、内水面漁業従事者への支援というよりは、資源の保護に重点を置いた施策と考えている。今後とも、資源の保護増殖による豊かな河川を守ることを目指して、継続して事業を実施していく。(⑤)</p>